

シラバス

指定番号：285

商号又は名称：一般社団法人日中人材育成協会

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解			
指導目標	○障害の概念と ICF, 障害福祉の基本的な考え方について理解し, 介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 障がいの基礎的理解	1.0	0.5	0.5	【目標・講義内容・学習課題の概要等】 ・障害の概念と ICF ・障害者福祉の基本理念 【学習のポイント】 ・「障害とはどういうものなのか」という考え方を学ぶ。 ・国際生活機能分類 (ICF) にもとづきながら, 「障害」の概念について理解する。 ・障害者福祉の基本理念 (ノーマライゼーション, リハビリテーション, インクルージョン) について理解する。 【通信課題】 ・「ICIDH (国際障害分類)」と比較をしながら「ICF (国際生活機能分類) の特徴」についてまとめる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
② 障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1.0	0.5	0.5	【目標・講義内容・学習課題の概要等】 ・身体障害・知的障害 ・精神障害・発達障害・難病 【学習のポイント】 ・障害の原因となるおもな疾患を理解する。 ・障害にともなう心理的影響, 障害の受容を理解する。 ・障害のある人の生活を理解し, 介護上の留意点について学ぶ。 【通信課題】 ・中途視覚障害のある人の「心理のプロセス」についてまとめる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
③ 家族の心理、かかわり支援の理解	1.0	0.5	0.5	【目標・講義内容・学習課題の概要等】 ・家族の理解と障害の受容支援 ・介護負担の軽減 【学習のポイント】 ・家族支援は, 家族介護の肩代わり支援だけではない事を学ぶ。 ・日本に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。 【通信課題】 ・家族の介護負担の軽減の方法についてまとめる。等 ・関連正誤問題と穴埋め問題。等
(合計時間数)	3.0	1.5	1.5	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
 ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
 ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
 ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。